

令和6年度

学 校 評 価

美馬市立穴吹小学校

令和6年度 学校教育目標
 人権を尊重し 確かな学力を身につけ
 心豊かでたくましく生きる子どもを育てる



令和6年度
 美馬市立穴吹小学校
 グランドデザイン

学校経営方針

- 一人一人の子どもが生き生きと輝く姿のある学校づくりの推進
- 人権教育を基盤として、子どもや地域のよさを生かした信頼される学校づくりの推進
- 確かな学力の定着と基本的な生活習慣の確立をめざす学校づくりの推進



めざす学校像

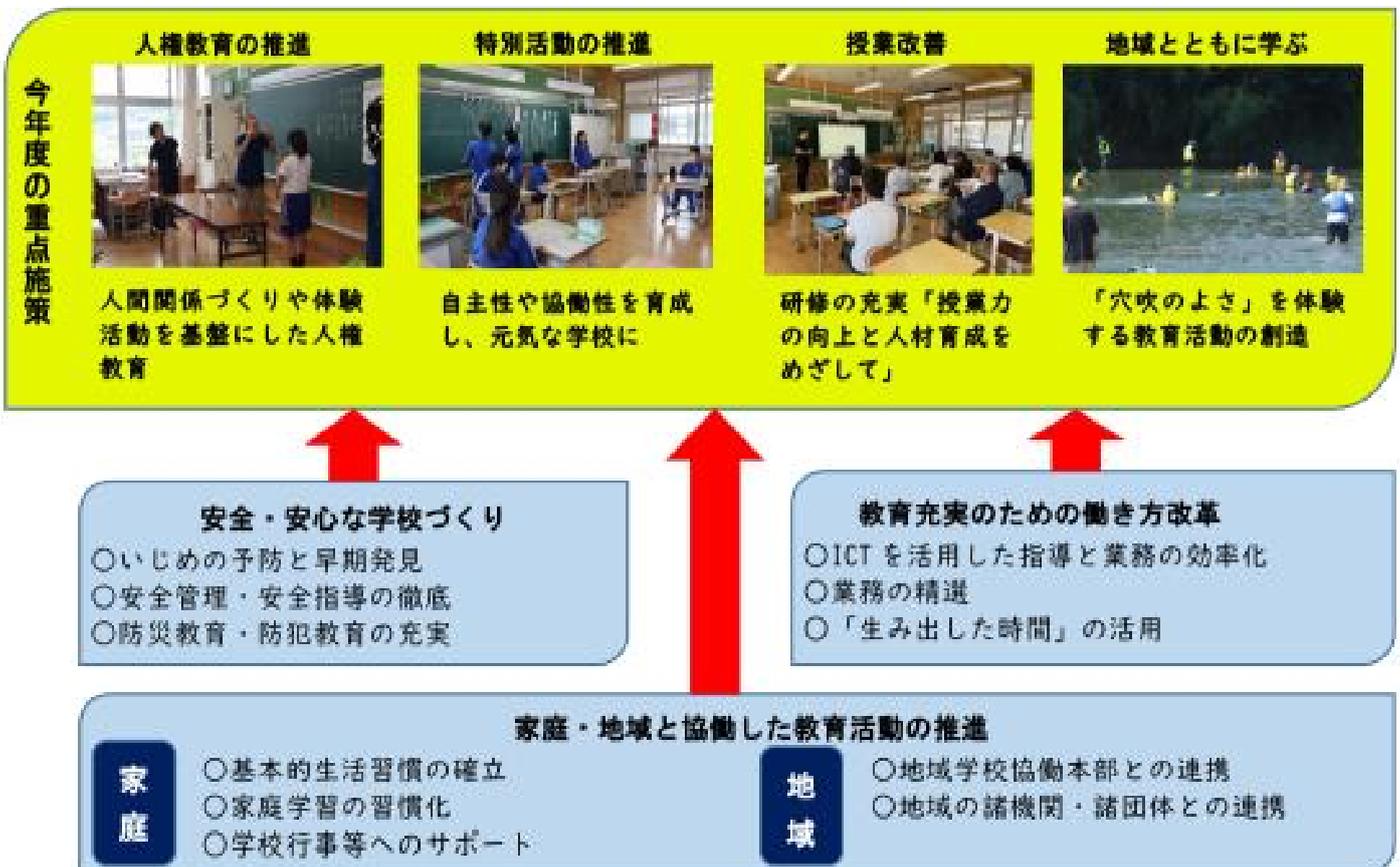
- ・子どもが輝く学校
- ・安全・安心な学校
- ・地域と共にある学校

めざす子ども像

- ・やさしく、思いやりのある子
- ・進んで学び、自ら考える子
- ・命を大切にし、心身ともにたくましい子
- ・ふるさとを愛し、大切にする子

めざす教職員像

- ・教育に誇りと責任をもち信頼される教職員
- ・子どもを大切に子どもと共に伸びる教職員
- ・心身ともに健康で人間性豊かな教職員



教育活動			B
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)	
確かな学力	☆全国学力・学習状況調査(4/18) ☆ステップアップテスト(4/18) ☆アンケート4「家庭学習」 ☆アンケート5「学力」 ☆わかる授業をめざす授業研究 ☆週帯時間によるドリル学習 ☆個に応じた指導 ☆ICTを活用した教育 ☆読書の習慣化への取り組み	全国比 6年 国語+0.3 算数 -2.4 徳島県との差 4年 国語-9.9 算数 -12.7 5年 国語-0.4 算数 -9.5 児童93.0%(86.9%)↑保護者80.0%(87.4%)↓ 児童96.0%(95.3%)↑保護者85.0%(75.7%)↑ 学力向上実行プランの作成、大小研修等における研究授業の実施 6回(4回) ドリル学習による基礎基本の定着 TT、授業中や休み時間、放課後の個別指導 デジタル教科書の活用、電子黒板の活用 タブレットの活用(メタモジ、タブレットドリル) 朝の読書、多読賞表彰、図書集会	B
	成果と課題		
	全国学力・学習状況調査やステップアップテストの結果は、全国や県と比べて低い状況が続いており、基礎基本及び活用力など学力の引き上げが引き続き課題である。授業研究を計画的に行い、授業改善を図り、わかる授業をめざすと共に、ドリル学習・ミニテストの積み重ねも工夫し、さらなる学力の定着を目指す。また、今年度は、小中連携いきいき事業(特活)での取組による話し合い活動の充実により、児童の表現力の向上が見られた。		
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)	
豊かな心	☆アンケート1「あいさつ」 ☆アンケート3「仲良く」 ☆アンケート6「児童理解」 ☆アンケート11「学校は楽しい」 ☆人権教育への取り組み ☆道徳教育への取り組み ☆特別支援教育への取り組み ☆温かく支持的な学級集団づくり	児童92.0%(91.5%)↑ 保護者82.0%(83.6%)↓ 児童98.0%(89.3%)↑ 保護者87.0%(86.4%)↑ 児童97.0%(95.4%)↑ 保護者80.0%(81.0%)↓ 児童92.0%(88.5%)↑ 人権教育の視点に立った授業の実施、人権教育に関する職員研修、人権学習参観日、人権標語、人権教室の開催 年間計画に沿った計画的な指導 関連機関との連携、ケース会議の開催、特性に応じた指導 児童相互が認め合う「話し合い活動」の充実 異年齢集団「にこにこ班」での活動	B
	成果と課題		
	昨年度に続き、保護者の評価が、わずかではあるが前年度に比べ低下している。学校における道徳教育や人権教育の目標や具体的方策、各取組の意義について家庭に通知し、理解を助け協力を得ていく必要がある。毎朝のあいさつ運動は、6年生が中心となり自分たちの学校を明るくしようと始め、他学年の児童も積極的に参加している。また、異年齢集団での活動や児童会の企画・運営する行事等を通して、学年を越えた交流する場面が多く見られた。		
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)	
健やかな体	☆全国体力・運動能力・習慣調査 ☆アンケート2「早寝早起き朝ごはん」 ☆アンケート9「体力向上」 ☆各種校内検定の取り組み等 ☆肥満傾向児童の改善状況 ☆各種運動大会練習参加状況 ☆休み時間の遊びの状況	全国平均に比べ5年男子は+1.97、女子は+2.3 児童93.0%(81.5%)↑ 保護者78.0%(69.5%)↑ 児童69.0%(74.6%)↓ 保護者82.0%(86.3%)↓ 水泳検定、縄跳び検定等 軽度肥満以上は4月は12.1%、1月には16.1%(昨年度よりやや減少) 体操 13(36)名、水泳 18(28)名、陸上 27(23)名参加 本年度より、登校後の運動場での外遊びを奨励したところ、外遊びをする児童が段々と増えている。しかしその割合は、まだ全校児童の6割程度にとどまっている。	B
	成果と課題		
	多くの児童が積極的に各種運動に参加したり、体育の時間の縄跳び検定に取り組んだりしている。休み時間に体育館を使用できるようになったことや朝の運動場での外遊びを通して、運動の幅が広がり、意欲的に活動する児童も増加した。しかし、運動の二極化が見られ、全ての児童が運動に親しんでいるとは言い難い。併せて、肥満傾向の改善にもつながる望ましい食習慣・運動習慣の定着に向けた取組を一層推進する必要がある。		

自己評価 (A…達成 B…概ね達成 C…やや不十分 D…不十分)

信 頼 さ れ る 学 校

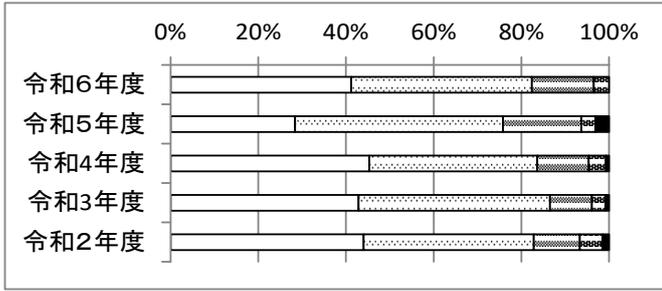
B

評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)
開かれた学校	☆アンケート7「相談体制」 ☆アンケート10「連携」 ☆ホームページの記事投稿状況 ☆分かりやすい学級だより ☆保護者との連携 ☆保護者や地域と連携した学校行事 ☆学校支援ボランティアとの連携	児童99.0%(98.5%)↑ 保護者73.0%(71.6%)↑ 児童81.0%(75.4%)↑ 保護者85.0%(90.5%)↓ 2月12日時点で38投稿 全学級毎月発行 家庭訪問、個人懇談、学級懇談の実施と担任による電話連絡、さくら連絡網、web質問等の活用 運動会、川の学校(今年度は中止)、宮内オリエンテーリングなどで多数の保護者やボランティアの協力を得た。 各種行事への支援、読み聞かせ、昔遊びなど学習活動への支援、環境整備等の協力
	成 果 と 課 題	
行事では多くの保護者や地域の方の協力を得られたことで、充実した活動ができた。学校の相談体制に対しは、保護者の肯定的な評価が昨年度と比べてやや増加したが、十分とは言い難い。これまで以上に日常のきめ細かい連絡体制を確保し、保護者の側から相談しやすい環境づくりに努める必要がある。学校からの連絡については、紙媒体から電子媒体へ徐々に移行してきた。今後も家庭との連絡体制を強くし、保護者の理解と協力を得るためにも丁寧な情報発信をしていく必要がある。		
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)
安全・安心	☆アンケート11「安全整備体制」 ☆毎月の安全点検 ☆交通安全教室、避難訓練、防災学習、緊急時引渡し訓練 ☆学校内でのけがの状況 ☆落ち着いた学校生活への取り組み	保護者85.0%(89.5%)↓ 毎月安全点検を実施し、不良箇所を修繕した。 交通安全教室1回、避難訓練3回(地震・火災1回、土砂災害1回、不審者対応1回) 小中合同防災学習1回、緊急時引渡し訓練1回 日本スポーツ振興センター申請 6件(1件) 「穴吹よい子のきまり」を引き続き全校をあげて指導した。
	成 果 と 課 題	
安全整備体制について、保護者からの肯定的な評価は前年度に比べ、低下している。土砂災害や南海トラフ地震など、災害に備え様々な場面を想定した避難訓練の実施と安全教育の推進により、防災力を高め、安全・安心な学校づくりに努めていく必要がある。		
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)
教職員が生き生きと働く職場環境	☆アンケート8「活力ある教職員集団」 ①「業務改善・勤務時間の適正化」 ②「休暇のとりやすさ」 ③「職場環境の整備」 ☆勤務時間の適正化 ☆業務改善	児童97.0%(99.2%) ↓ 保護者80.0%(79.0%) ↑ 教職員66.0%(80.0%) ↓ 教職員91.0%(93.3%) ↓ 教職員75.0%(66.7%) ↑ 時間外在校時間の管理 校務支援システムの活用 学びサポーターの活用
	成 果 と 課 題	
教職員の業務改善、勤務時間の適正化について十分でないと感じる割合が増えている。勤務時間を意識した業務改善に引き続き取り組んでいく必要がある。また、休暇が適切に取得できているとする割合は9割を超えている。教職員一人一人が、常に生き生きと自身の職責を果たすことができるような職場環境づくりをめざした取組を行っていく必要がある。		

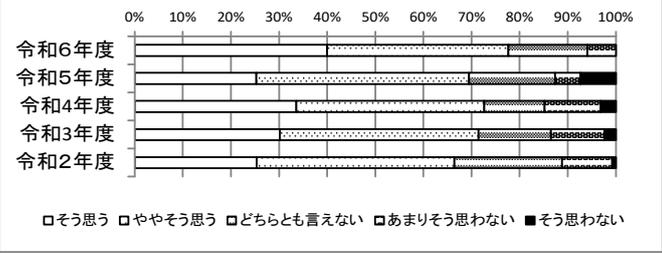
総合評価

- (1) 小中合同防災訓練の実施により、児童の防災に対する意識の向上が見られた。今後、危機管理マニュアルを常に点検すると同時に、地域、家庭、諸機関と連携し、安全・安心な学校づくりをめざしていく。
- (2) 基礎基本の定着、活用力の向上のため、授業改善を図る他、ドリルの時間の活用方法などを工夫し、個別最適な学びの実現を目指していく。
- (3) 道徳教育や人権教育をはじめすべての教育活動を通して、他人を思いやる心や尊重する心を育み、取組の方策や意義を家庭に通知することで理解を広げ、協力体制を築いていく。
- (4) 保護者や地域学校協働本部の支援を得て、今年度も穴吹小学校ならではの教育活動を継続することができた。しかし、教育活動の精選やブラッシュアップは常に必要であり、全教職員でカリキュラムを見直していく必要がある。

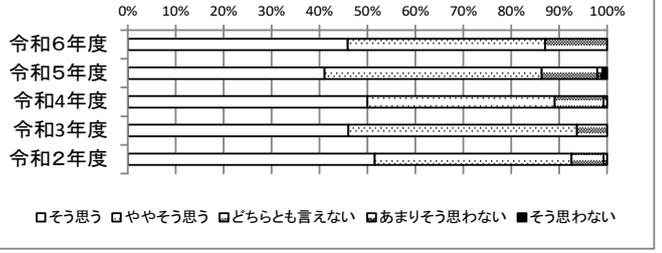
1 子どもは、家庭や地域の人に自分からあいさつができています。



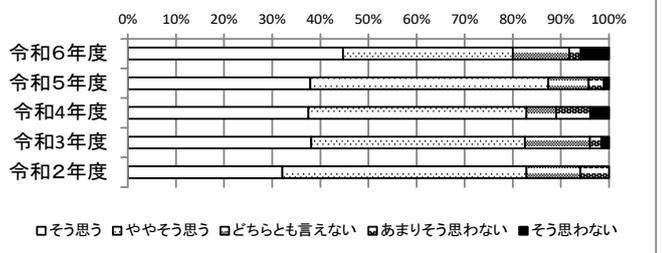
2 子どもは「早寝早起き朝ごはん」の習慣が身についている。



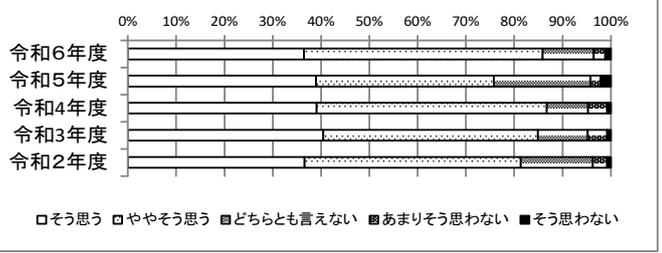
3 子どもは、優しく思いやりのある態度が見られ、友達とも仲良くできています。



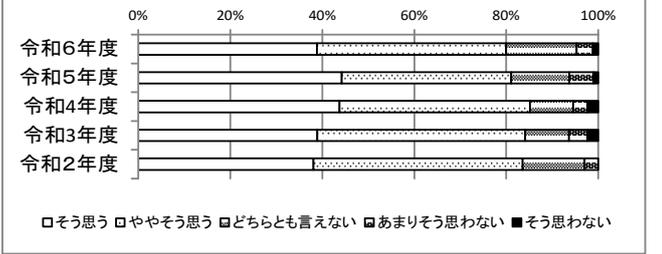
4 子どもたちは、毎日宿題をしたり、読書をしたりしている。



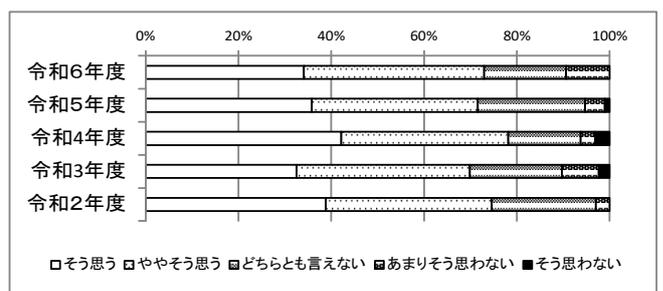
5 学校は、基礎的な学力が身につくよう授業や学習活動を工夫するなど努力している。



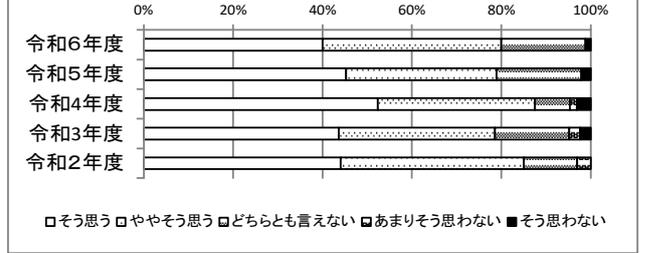
6 学校は、子ども一人一人を理解するように努め、子どもを大切に



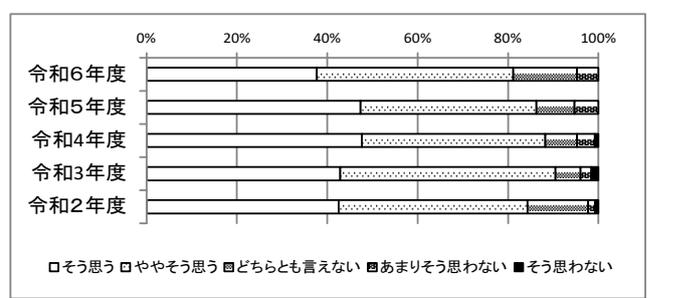
7 学校は、子どものことなどでたずねたり相談したりしやすい。



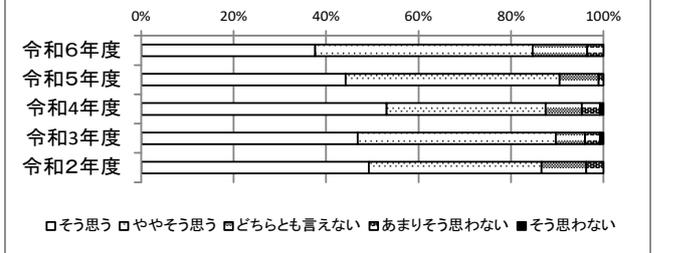
8 教員は活気があり、はつらつと子どもに接している。



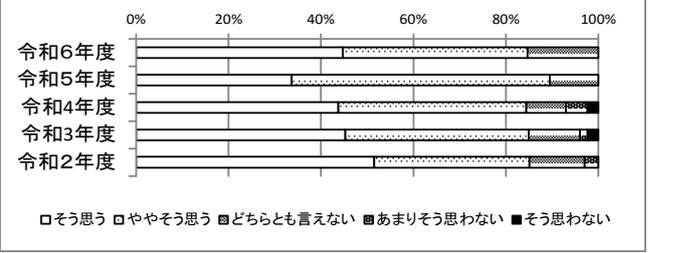
9 学校は、子どもの健康な体づくりや体力向上のために取り組ん



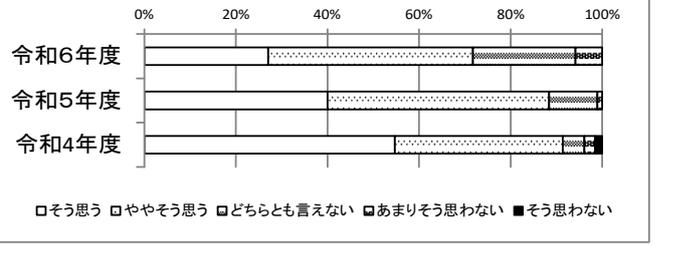
10 学校は、お便りや通信、ホームページなどで情報を伝えるとともに、家庭や地域と連携した取り組みをしている。



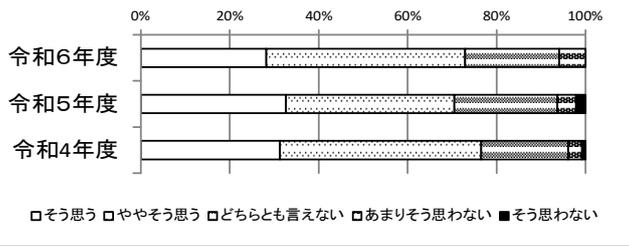
11 学校は、施設や設備の整備に努めるとともに、子どもの安全を守る取り組み(保健衛生・交通・自然災害・不審者対応など)の対応を



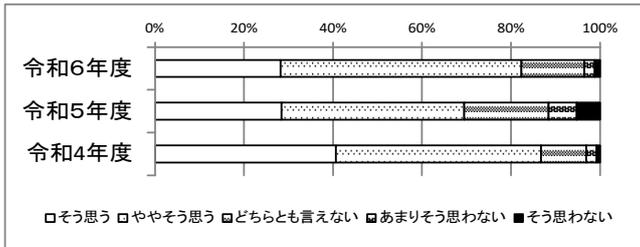
12 学校は、新型コロナウイルスなど感染症対策にしっかり取り組ん



3 学校は、スマホやSNS等について、メディアリテラシー（メディアから得た情報を見極めるスキル）の能力を高めたり、危険について学習しようと取り組んでいる。

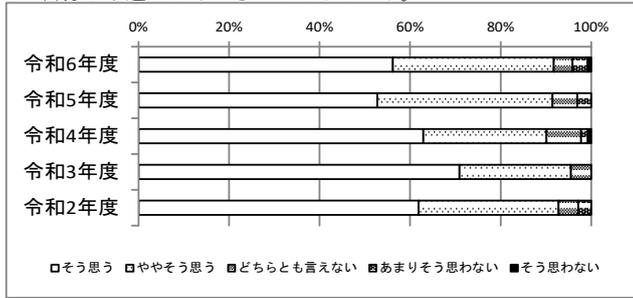


学校は、タブレットを使用した学習環境の構築並びに授業や学習活動を工夫するなど努力している。

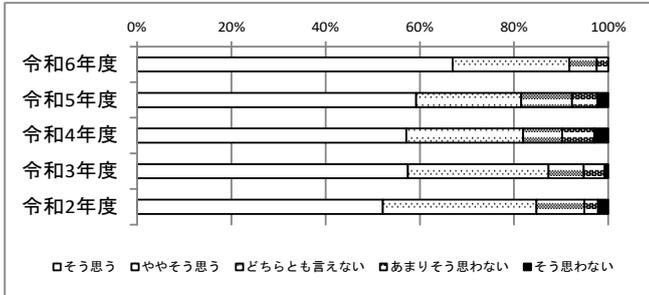


令和6年度 穴吹小学校学校評価 児童アンケート結果

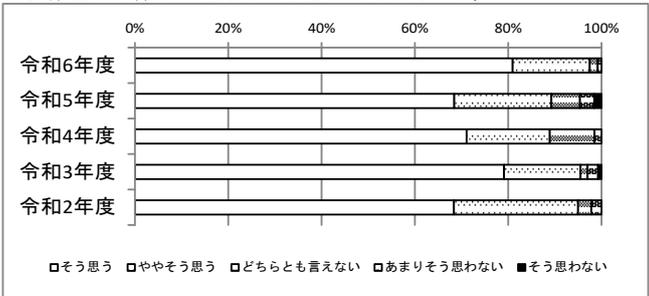
1 自分から進んであいさつができています。



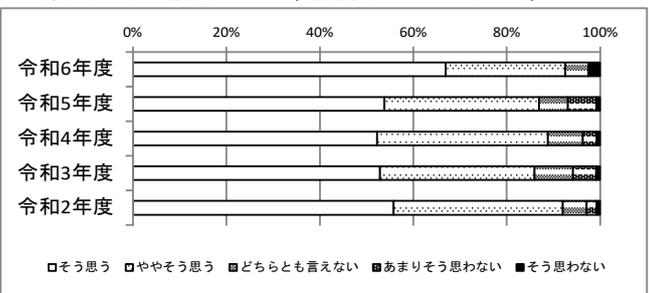
2 早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。



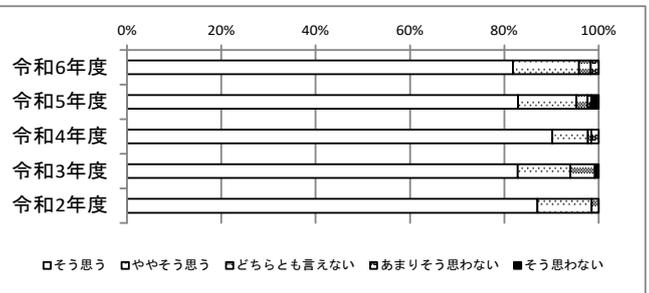
3 誰とでも仲よく遊んだり勉強したりしている。



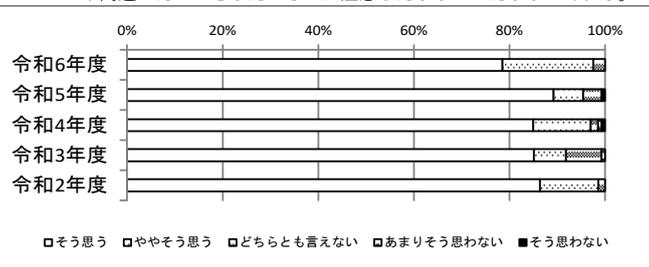
4 毎日忘れずに宿題をしたり、読書をしたりしている。



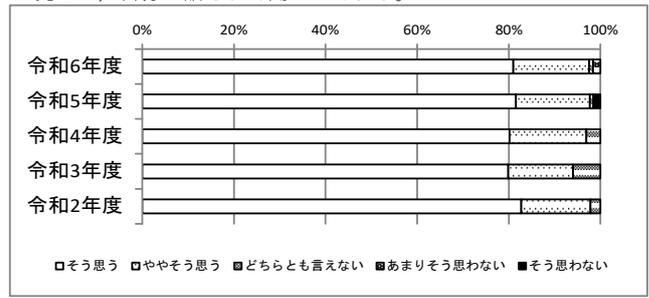
5 先生は、勉強を分かりやすく教えてくれる。



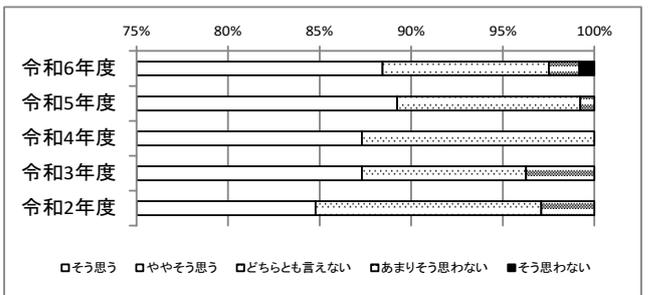
6 先生は、がんばったことや努力したことをほめてくれるし、いけないことや間違ったことをしたときには注意したりしかったりしてくれる。



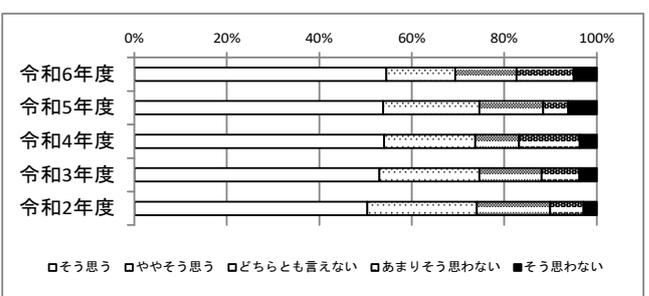
7 先生は、自分の話をよく聞いてくれる。



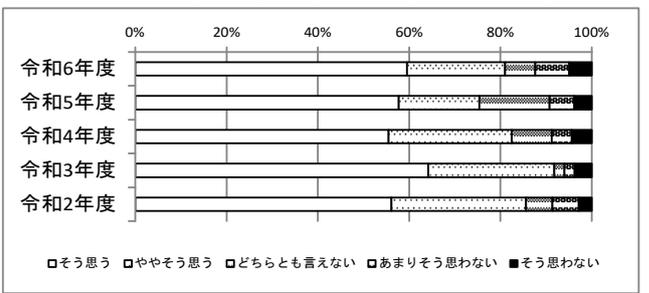
8 先生は元気でいきいきとしている。



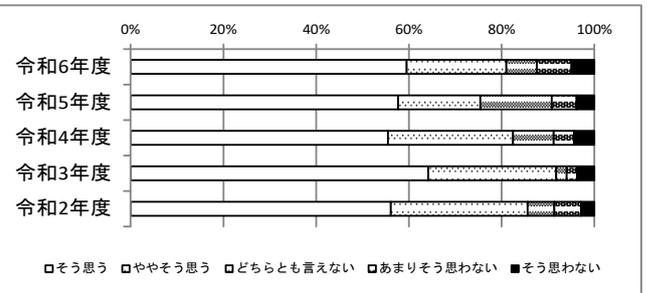
9 休み時間に外で元気に遊んだり、進んで運動したりしている。



10 学校のことや学校でしたことをよく家の人に話している。



11 学校は、楽しい。



令和6年度 保護者アンケート ご意見・ご質問に対する回答

- ・個人が特定できる部分については伏せさせていただきました。
- ・同じ内容のご意見は、まとめて記載しています。

学校生活に関して

- ・友達や先生とのやりとりなど、学校生活について家で楽しそうに話してくれます。先生方のおかげです。
- ・先生方にはよくしてもらっていますが、もっと視野を広く子どもたちを見て平等な教育をお願いします。
- ・子どもが、担任の先生が黒板の板書係を頑張っていたことをほめてくれたとうれしそうに言っていました。目立って何かしたわけではなくこつこつがんばる姿に気づいてほめてくれたことが親としてもうれしかったです。
- ・英語教育に力を入れてほしい。
- ・校則のルールが徹底されていない気がする。特に制服が今ひとつ守られていない。親としては困ります。
- ・プライベートゾーンにむやみに触れない、触れさせない話を家庭でもしていこうと思いますが、学校でもしっかり伝えていただけたらありがたい。

学校教育に対しご理解をいただきありがとうございます。学級では、担任が責任を持ってお子様をお預かりしていますが、多角的な視野で児童一人一人をみていこうと教員複数体制での授業や教員同士の情報共有を常に行っています。今後も、さらに子どもたち一人一人の声に耳を傾けてまいります。

【英語教育について】

美馬市では、「一歩先を行く0歳児から中学校卒業までの英語教育の実現～県内トップクラスの教育環境整備と地域社会・国際社会で活躍できる人材の育成～」を目標とし、その達成に向けた取組を推進しています。学校では、高学年の外国語、中学年の外国語活動で、それぞれ週1時間、外国語活動支援講師（ALT）によるチームティーチングを行っています。また、低学年についてもALTが年間10時間程度派遣され、英語に慣れ親しむ活動を行っています。そのほか、授業力向上のため市教育委員会

から指導員も定期的に来校しています。

【校則について】

「服装のきまり」については、昨年度3月に改訂しましたが、改めて本メール、HPでお知らせし、児童が自ら守っていけるようなものになりたいと考えています。

【マナーやモラルについての指導について】

集団生活において、マナーやモラルを守っていくことは、みんなが学校生活を楽しんでいくための重要な要素のひとつです。マナーを守らないことによる友達間のトラブルもしばしばあることから、親しい友達どうしても最低限のマナーやモラルを心得ておくことは必要です。

特に体に関することについては、学年を問わずお互いに気をつけるよう指導していきます。また、3年生以上の学年では保健学習でも学ぶ機会があり、実生活と関連させて行動化を目指していきます。

児童の健康・衛生管理等に関して

- ・クラス内で数人が同じ症状で感染したことがあったが、感染ルートや原因などが不明であったのが気になった。
- ・給食の時間が多少長くなるかもしれませんが、子どもが食べる時間が減ることがないようにお願いします。
- ・昨年までは、冬にジョギングをしていたが今年からなくなってしまったようなので、ジョギングではなくてもスポーツや身体を動かす取り組みがあれば良いと思います。

【感染症対策について】

昨年度、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、インフルエンザや感染性胃腸炎等の感染症予防のため、うがい、手洗い、換気などの基本的対策は継続しています。感染が拡大するおそれがあればマスクの着用も含めて基本的対策を強化するとともにメール等によるご家庭への情報共有にも努めてまいります。

【給食について】

児童によって食べる量やはやきの違いがあり、またメニューによってはどうしても時間内に食べることが難しい日もあります。一人一人の食べるはやきや嗜好など、個人差にも配慮した上で、楽しい給食の時間になるよう努めます。

【体力づくりについて】

国の定める学習指導要領（カリキュラムの基準）では、持久走を「一定の速さで無理のないかけ足を低学年では2～3分程度、中学年では3～4分程度続けること」、高学年では「時間やコースを決めて行う全身運動・無理のない速さで行う5～6分程度の持久走」と発達段階によって位置づけられています。体育の目的である生涯スポーツの観点を踏まえ、児童の運動の嗜好性も考慮し、本年度は、

時間とコースを決めた全校一斉での持久走を行いませんでした。それに代わる工夫として、休み時間がさらに楽しくなるように、「腕相撲大会」「逃走中（おにごっこ）」など全校児童が楽しめる遊びを、各委員会活動が主催してくれました。また、ピニールのボールやバットを用意し、野球型の遊びもできるようにしました。その他、登校後、始業までの時間の外遊びを奨励するなど運動に親しむことができる環境を整えました。

家庭との連携に関して

- ・はっきりとした日程が分からなくても、その月に何の行事があるか分かるように、1年間の行事予定表の作成をお願いしたいです。
- ・毎月の行事予定表を昨年度より早く配布していただいていることで、予定が立てやすく助かっています。
- ・連絡帳はタブレットではなくて今まで通りノートに書く方が良い。
- ・昨年度よりもホームページに行った活動を載せているのが減ったと思います。もっと載せてほしいです。

【行事予定について】

1年間の行事予定については、4月に配布いたします。PTA総会資料の事業計画に掲載していますので、そちらをご覧ください。

【連絡帳のICT化について】

児童は、登校した子から連絡帳に予定を記入していますが、一人一人登校時間も違い、連絡帳を書いていると朝の活動にスムーズに移行できない等の課題がありました。そこで、朝の時間を確保するという目的で、3年生以上の学年では、連絡帳の代わりにタブレットを使用することにしました。担任が立

てた計画のデータを、毎朝、児童がタブレットに取り込んでいます。

タブレットかノートかについては、使用目的によって選んでいますが、連絡帳も含めてその効果について不断に検証し、より良い選択、改善をまいります。

【ホームページに関して】

今年度は、昨年度に比べてホームページの更新が十分できていなかったと思います。しっかりお伝えできるよう努力いたします。

行事等について

- ・たくさんの方が観覧できるように、美馬市内の小学校で運動会が重ならないようにしてくれたらありがたいです。

【運動会について】

10月初旬には美馬地区陸上記録会があり、また近年の暑さを考慮し、10月中旬以降の実施を検討するようになりました。さらに穴吹地区、宮内・初草地区のお祭りや10月～11月の県陸上記録会を避けての実施となると、期日の選択肢がかなり狭まってきます。美馬市内各校においても事情が異なるため、他校との調整が非常に困難であることをご理解ください。

【その他】

「子ども会」や「交通安全母の会」の活動につきましてもご意見をいただきました。それぞれの会の代表者様にはご検討いただけるようお伝えしています。ご了承ください。